

ADSLモデム-SV II かんたんガイド

1 お使いになる前の確認

インターネットへの接続をおこなうためには、局側でのADSLの工事とプロバイダへの契約が必要です。次の準備ができていますかチェックしてください。

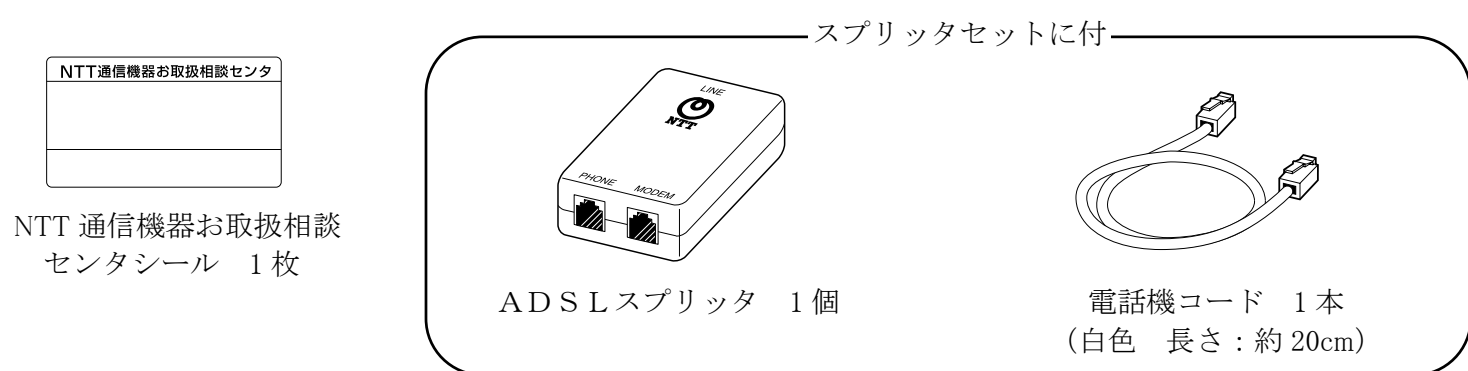
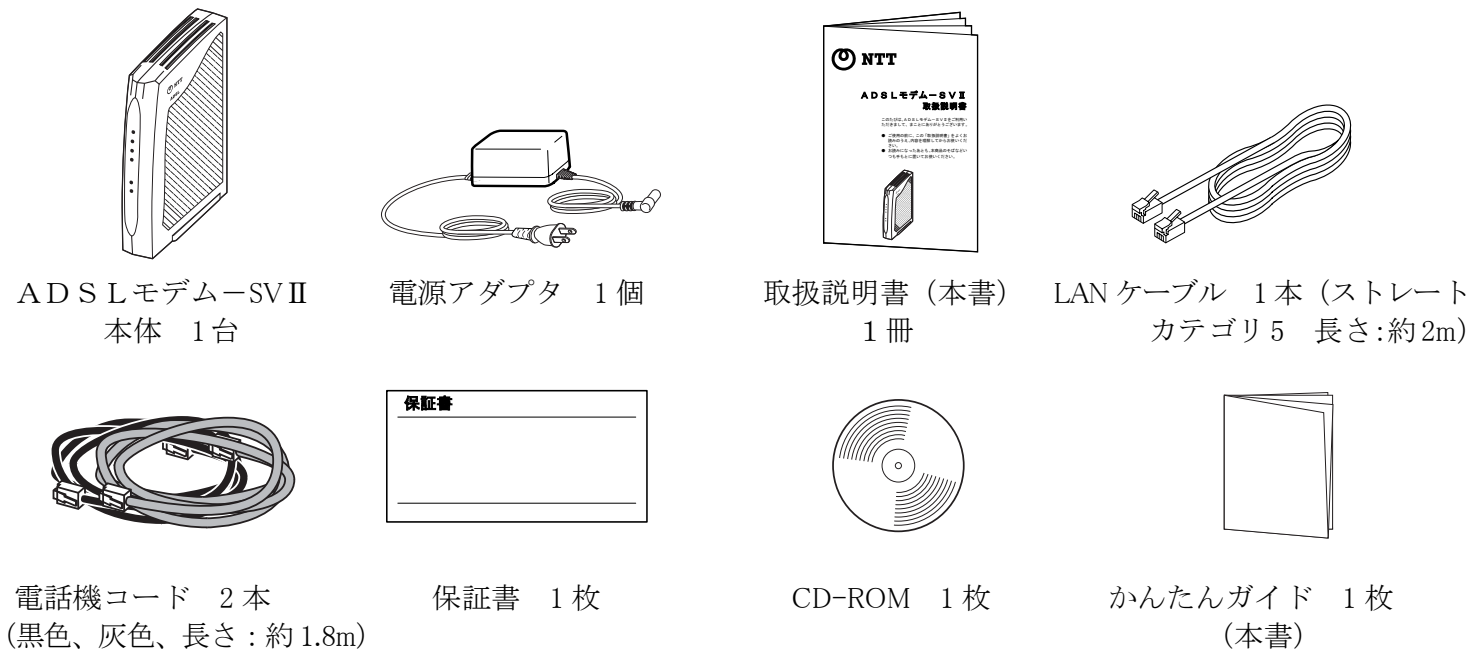
- ADSLの工事はお済みですか。(→工事については、局番なしの116番または当社の営業所などにご連絡ください。)
- プロバイダへの契約をおこなっていますか。
(→契約については、各フレッツ・ADSLサービス対応のプロバイダにご連絡ください。)

付属品リスト

- 本商品には、製品本体および付属品が入っています。まずこれらがすべて揃っているかどうか確認してください。
- 万一、足りないものがありましたら、当社のサービス取扱所もしくはお買い上げになりました販売店までお申し付けください。

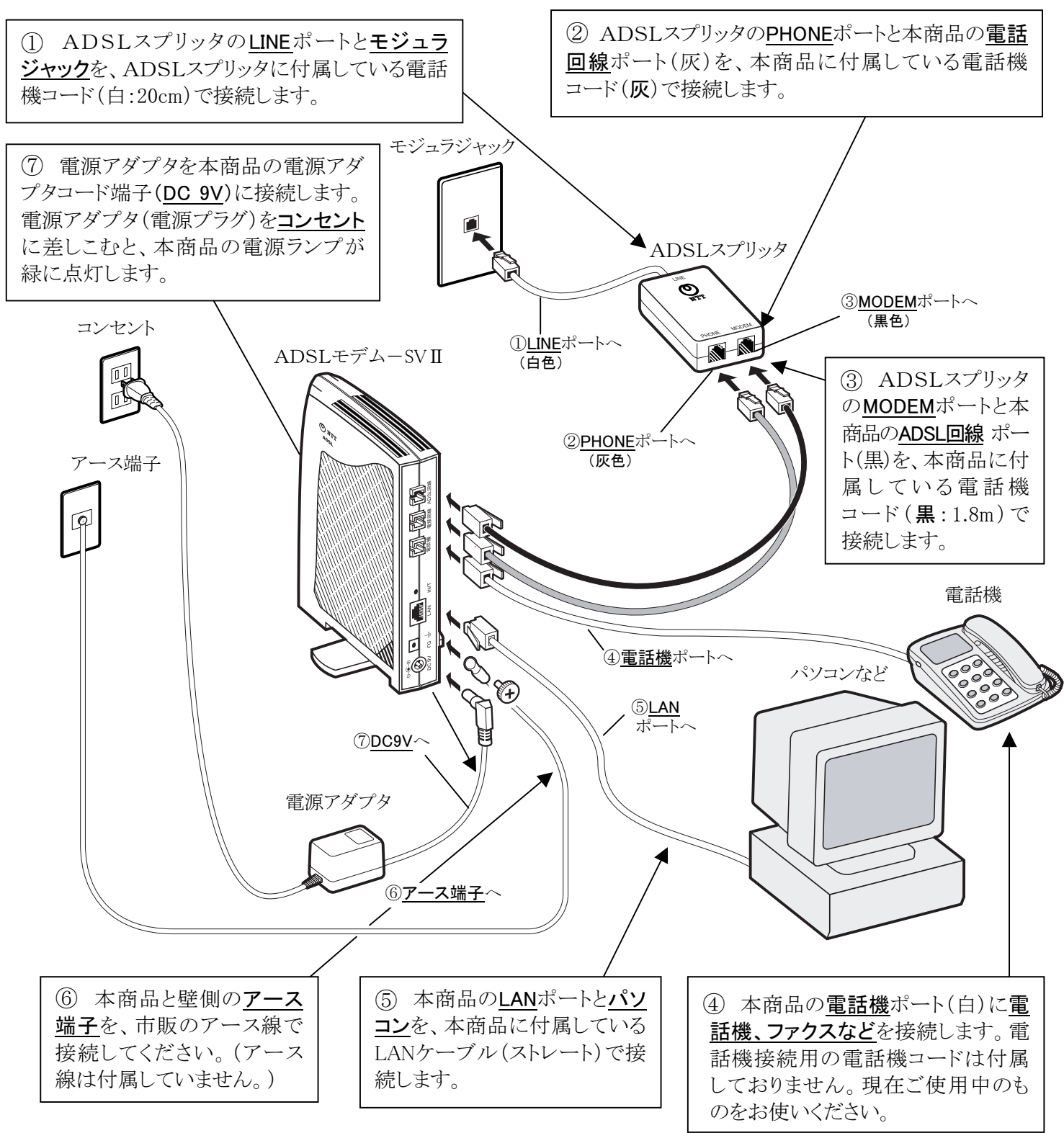
<input type="checkbox"/> かんたんガイド / 1枚 (本書)	<input type="checkbox"/> CD-ROM / 1枚
<input type="checkbox"/> ADSLモデム-SV II / 1台	<input type="checkbox"/> 取扱説明書 / 1冊
<input type="checkbox"/> 電源アダプタ / 1個	<input type="checkbox"/> NTT 通信機器お取扱相談センターシール / 1枚
<input type="checkbox"/> LANケーブル / 1本 (ストレート カテゴリ 5 長さ:約 2m)	スプリッターセットの場合は以下のものが付属しています。
<input type="checkbox"/> 電話機コード / 2本 (黒色、灰色、長さ:約 1.8m)	
<input type="checkbox"/> 保証書 / 1枚	<input type="checkbox"/> ADSLスプリッタ / 1個
	<input type="checkbox"/> 電話機コード / 1本 (白色 長さ:約 20cm)

※ レンタル品の場合、保証書は付属しておりません。



2 機器の接続、電源を入れる

本商品は、横置きでの使用はできません。本商品を設置する際は、底面の回転縦置き台を「カチッ」と音がして止まるまでまわして、縦置きの状態でご使用ください。



- ◆ ホームテレホンの内線電話機やデジタル電話機などは接続できません。また、IP電話を用いてファクスやアナログモデム通信の送受信をおこなうと、失敗する場合があります。
- ◆ 回線チェッカは、ADSLスプリッタのPHONEポート以外に使用しないでください。回線チェッカや回線設備が故障することがあります。

3 パソコンのネットワーク設定

ご使用のパソコンの Ethernet インタフェースに対して、IP プロトコルの設定をおこなってください。

必要なハードウェアとソフトウェア

ハードウェア	ソフトウェア (Web ブラウザは下記のバージョンに対応しています。)	
	Windows の場合	Macintosh の場合
Ethernet インタフェースを持ったパソコンなど ※1	Microsoft Internet Explorer Ver.5.0 以上 ※2	Microsoft Internet Explorer Ver.5.0 以上
	Netscape Communicator Ver.4.7 以上 ※3	Netscape Communicator Ver.4.7 以上 ※3

※1 Ethernet インタフェースの取り付け方法および設定方法については、パソコン本体や Ethernet カードなどに付属している取扱説明書を参照してください。

※2 Ver.5.0 Service Pack 2 では本商品の一部の機能が正しく動作しない場合があります。(Ver. 5.5 以上へバージョンアップしてご使用ください。)

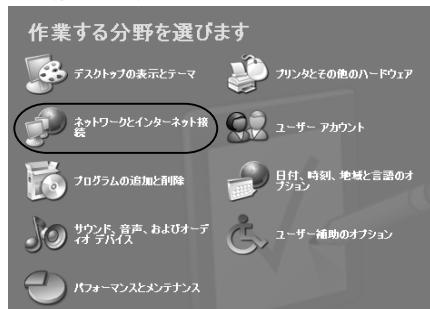
※3 Ver.6.0 以上を使用した場合は、一部の画面が正しく表示されません。

パソコンを初期設定でお使いの場合は、ここでの設定は必要ありません。「4 インターネットへの接続」へお進みください。

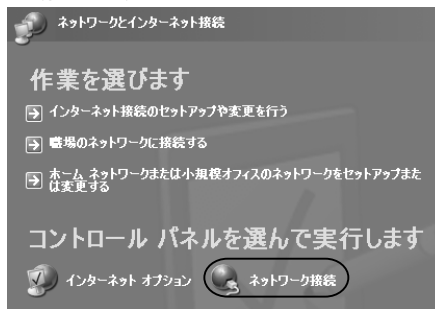
Windows XP の場合 (他の OS を使用する方は、取扱説明書を参照してください。)

- スタート→コントロールパネル(C)を選択してクリックしてください。
- [コントロールパネル]の画面が表示されますので、「作業する分野を選びます」から、**ネットワークとインターネット接続** (図 3-1)のカテゴリを選択し、クリックしてください。
- [ネットワークとインターネット接続]の画面が表示されます。「コントロールパネルを選んで実行します」から、**ネットワーク接続** (図 3-2)を選択してクリックしてください。
- [ネットワーク接続]の画面から、使用するネットワークアダプタ名が表示されている**ローカルエリア接続** (図 3-3)を選択し、ダブルクリックしてください。
- [ローカルエリア接続の状態]の画面が表示されます。[全般]のタブから**プロパティ(P)** (図 3-4)をクリックしてください。
- [ローカルエリア接続のプロパティ]の画面が表示されますので、[全般]のタブから**インターネットプロトコル(TCP/IP)**を選択してクリックし、その後**プロパティ(R)** (図 3-5)をクリックしてください。
- [インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ]の画面が表示されますので、[全般]のタブから**IP アドレスを自動的に取得する(O)**と、**DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(B)** (図 3-6)をクリックし、その後 **OK** をクリックしてください。
- [ローカルエリア接続のプロパティ]の画面で **OK** をクリックしてください。設定が保存され、有効になります。
- [ネットワーク接続]から**戻る**をクリックし、[ネットワーク接続]画面にある**インターネットオプション**をクリックしてください。
- 接続**タブをクリックし、ダイヤルアップを使用していた場合は、**ダイヤルしない**にチェックを入れ **OK** をクリックしてください。
- x** をクリックして、[ネットワークとインターネット接続]の画面を閉じてください。

(図 3-1)



(図 3-2)



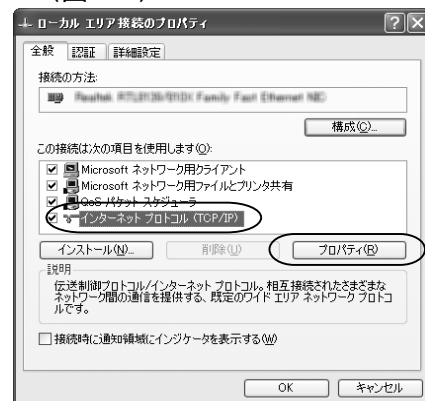
(図 3-3)



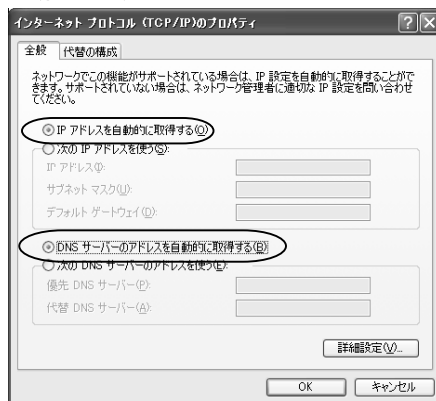
(図 3-4)



(図 3-5)



(図 3-6)



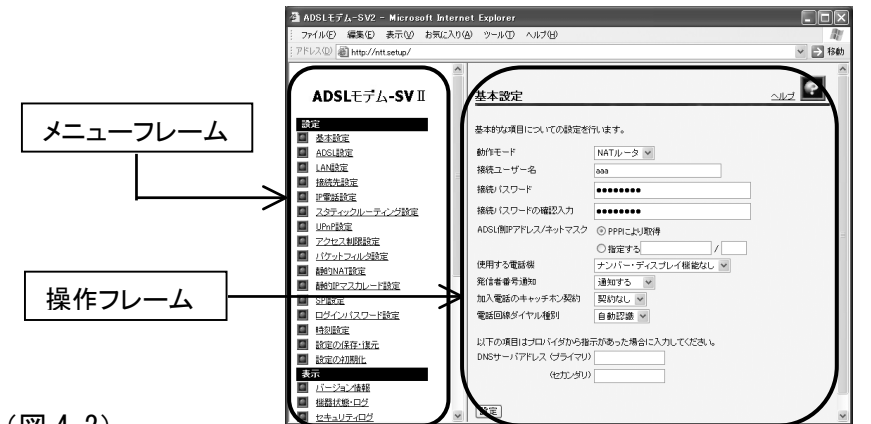
4 インターネットへの接続

パソコンの Web ブラウザを使ってアクセスし、インターネットに接続するために必要な設定をおこなってください。

- Web ブラウザを起動してください。
- Web ブラウザのアドレス欄に、**http://ntt.setup/** と入力し、**Enter** キーを押してください。
- ユーザー名およびパスワードに **user** と入力し、**OK** をクリックしてください。(図 4-1)

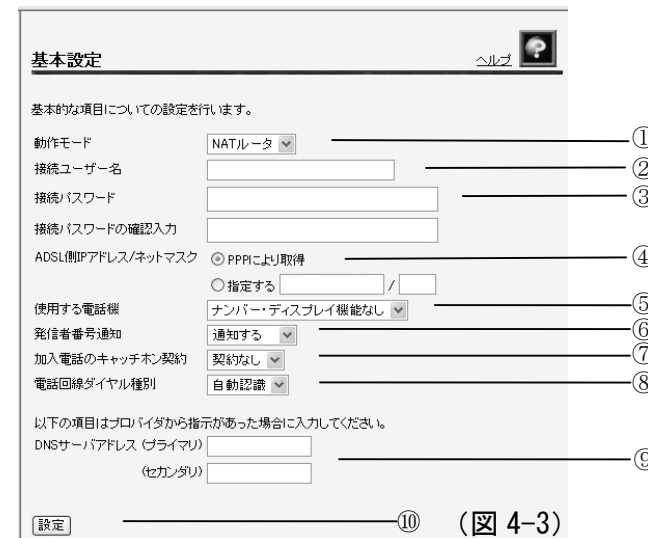


(この画面は Windows XP のものです。)

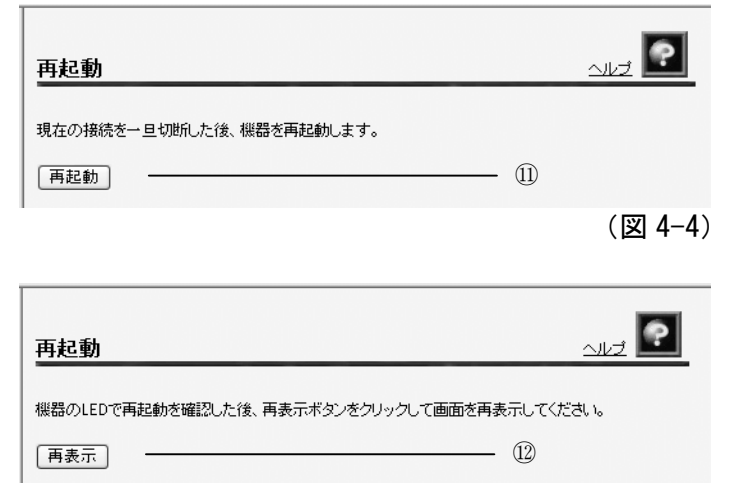


(図 4-2)

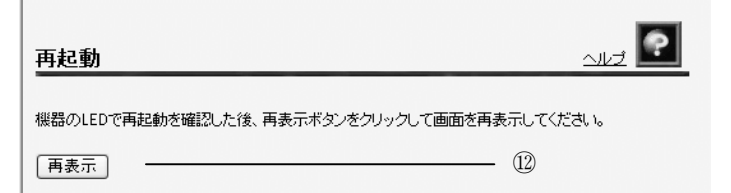
- 本商品管理メニューが表示されます。(図 4-2)
- メニューフレームより **基本設定** (図 4-3) をクリックし、以下の設定をおこなってください。



(図 4-3)



(図 4-4)



(図 4-5)

- 動作モード**
- 接続ユーザー名**
- 接続パスワード**
接続パスワードの確認入力
- ADSL 側 IP アドレス/
ネットマスク**
- 使用する電話機**
- 発信者番号通知**
- 加入電話のキャッチホン契約**
- 電話回線ダイヤル種別**

NAT ルータを選択してください。
 プロバイダから指定された PPP 認証用の ID を入力してください。
 プロバイダから指定された PPP 認証用のパスワードを入力してください。
 「接続パスワードの確認入力」にも同じパスワードを入力してください。
 プロバイダから特に指定がない限りは、PPP により取得を選択してください。
 複数固定 IP アドレスサービスを利用される場合は「指定する」を選択し、プロバイダから指定された IP アドレスおよびネットマスクを入力してください。
 電話機ポートに接続する電話機にナンバー・ディスプレイ機能がある場合は、「ナンバー・ディスプレイ機能あり」を選択してください。
 IP 電話に発信する場合、もしくは、加入電話に自動迂回して発信する場合に、自分の IP 電話番号を**通知するかどうか**を選択してください。
 加入電話回線で**キャッチホン契約を結んでいるかどうか**を選択してください。
 電話回線で使用しているダイヤル種別です。通常は、**自動認識**を選択してください。
 加入電話の回線種別に合わせて自動的にダイヤル種別が設定されます。
 プロバイダから DNS サーバアドレスの入力をおこなうように指定されている場合に、2 つの **DNS サーバのアドレス** (プライマリ/セカンダリ)を入力してください。

- DNS サーバアドレス**
- 設定** (図 4-3) をクリックしてください。設定内容が保存されます。
- 再起動** (図 4-4) をクリックしてください。設定した内容に従って機器が動作します。
- 前面のアラームランプが消灯すると再起動が完了です。**再表示** (図 4-5) をクリックしてください。しばらくして本体前面の PPP ランプが緑色に点灯すると、本商品の LAN ポートに接続されたパソコンからインターネットにアクセスできます。

(裏面へつづく)

5 IP電話の設定方法

IP電話をご利用になるには、IP電話サービス事業者(プロバイダ)への登録が必要です。IP電話の設定方法はプロバイダにより異なります。ご自身が契約しているプロバイダのIP電話設定方法をお確かめください。IP電話サービスを受けるための設定をADSLモデム-SV IIに対しておこなうようにプロバイダから指示されている場合のみ、下記の記述に従って各項目の設定をおこなってください。

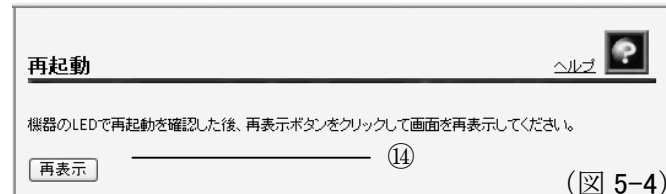
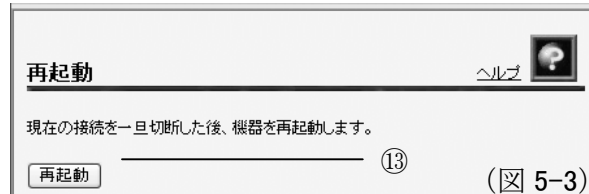
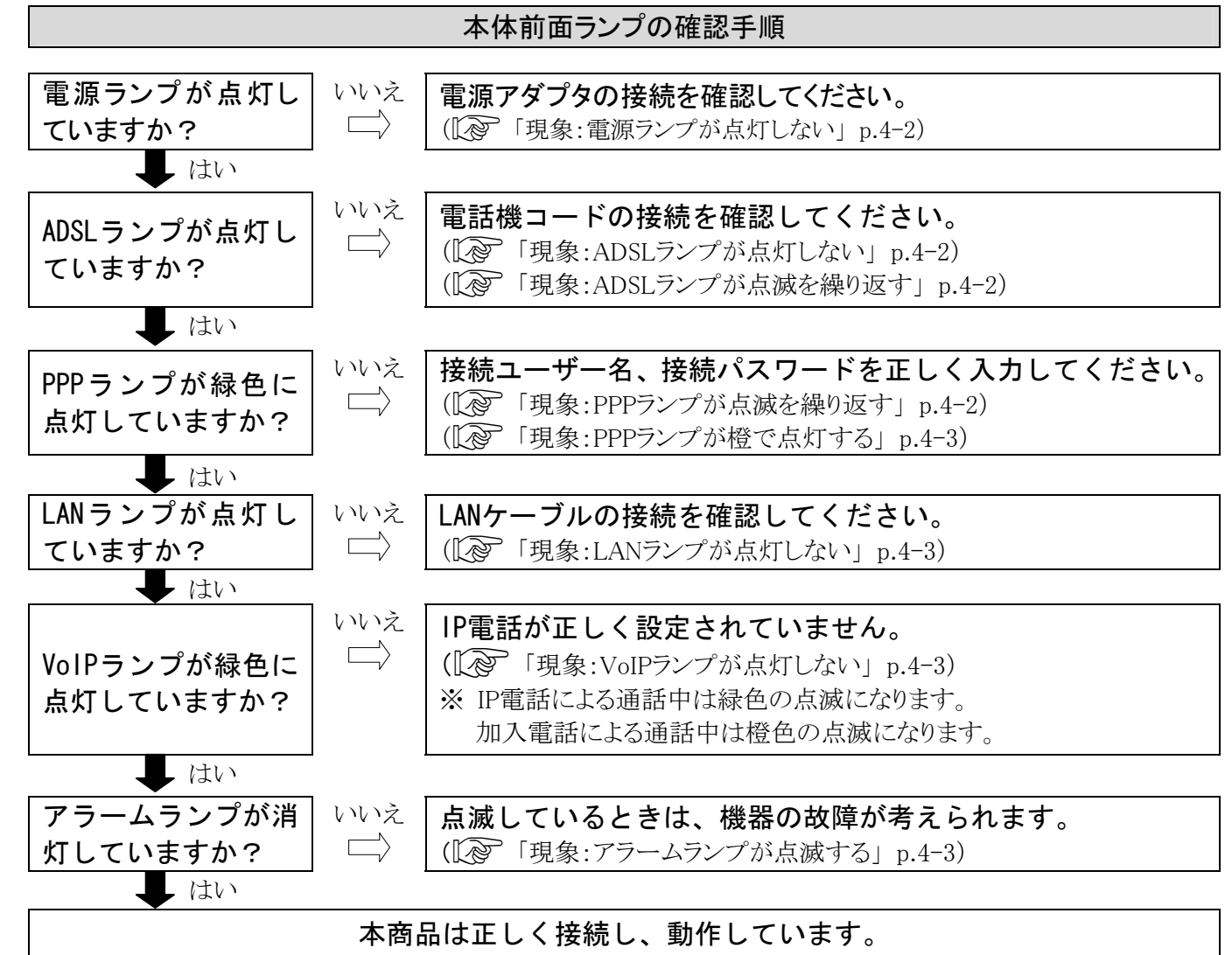
※ プロバイダのWebページに記載されている指示にしたがってIP電話の設定を自動的に行うことができる場合は、以下の設定をおこなわないでください。



- 1 メニューフレームより **IP電話設定** (図 5-1) をクリックし、以下の設定をおこなってください。
 - ① **SIP サーバアドレス** プロバイダから指定された **SIP サーバアドレス** を入力してください。
 - ② **SIP サーバポート番号** プロバイダから指定された **SIP サーバポート番号** を入力してください。特にプロバイダから指示のない場合は、本初期値(5060)を変更しないでください。
 - ③ **REGISTER サーバアドレス** プロバイダから指定された **REGISTER サーバアドレス** を入力してください。
 - ④ **REGISTER サーバポート番号** プロバイダから指定された **REGISTER サーバポート番号** を入力してください。特にプロバイダから指示のない場合は、本初期値(5060)を変更しないでください。
 - ⑤ **SIP ドメイン名** プロバイダから指定された **SIP ドメイン名** を入力してください。
 - ⑥ **ユーザー名** プロバイダから指定された **IP 電話ユーザー名** を入力してください。
 - ⑦ **パスワード** プロバイダから指定された **IP 電話パスワード** を入力してください。
 - ⑧ **IP 電話番号** プロバイダから指定された **IP 電話番号** を入力してください。
 - ⑨ **市外局番** 契約されている加入電話の **市外局番** を入力してください。
 - ⑩ **ソフトアップデート確認用 URL** **プロバイダから指定された URL** を入力してください。指定されていない場合は、何も入力しないでください。
- ⑪ **設定** (図 5-1) をクリックしてください。設定内容が保存され、設定変更の確認画面が表示されます。(図 5-2)
- ⑫ **再起動画面へ** (図 5-2) をクリックしてください。再起動画面が表示されます。
- ⑬ **再起動** (図 5-3) をクリックしてください。機器の再起動中の画面が表示され、本商品が再起動します。
- ⑭ 前面のランプで再起動を確認後、**再表示** (図 5-4) をクリックしてください。
VoIP ランプが緑色に点灯すれば、IP 電話が利用可能となります。

付録: 故障かなと思ったら

トラブルが発生した場合には、本商品の本体前面ランプを確認してください。表中のページ番号は、取扱説明書のページ番号と対応しています。



【お問い合わせ先】NTT西日本

- 故障・設定などに関するお問い合わせ 0120-248995 (24時間受付)
- 本端末機器の取り扱いに関するお問い合わせ 0120-109217 (受付時間 平日9:00~17:00)

IP電話サービスをご利用のお客様へ ①

IP電話サービスご利用前に、必ずご確認ください

👍 プロバイダが提供するIP電話サービスのご契約が必要です。

- ◆「IP電話対応機器」からご利用いただける対応プロバイダを下記URLにてご確認ください。
- ◆ご利用になるIP電話サービスのサービス内容をご確認ください。
(料金体系や提供条件、サービス対象となる通話先等、IP電話サービスによってサービス内容が異なりますので、ご契約のプロバイダにご確認ください。)
- ◆IP電話サービスをご利用いただくには、「対応プロバイダとのご契約」「IP電話対応機器の設定」が必要です。下記URLから行ってください。
※加入電話をご利用いただくためには、「IP電話対応機器」に加入電話回線の接続が必要です。

対応プロバイダー一覧

NTT東日本	http://flets.com/ipphone/pbd.html
NTT西日本	http://www.ntt-west.co.jp/flets/ipphone/isp.html

👍 加入電話回線を接続しないと、110番・119番等にはつながりません。

- ◆110番や118番、119番など一部の電話番号へは、ご契約のIP電話サービスによらず自動的に加入電話として発信されるため、加入電話回線が正しく接続されていないとつながりませんのでご注意ください。

👍 IP電話サービスから発信しない／できない時は、0000(ゼロ4回)

- ◆ネットワーク障害など何らかのトラブルにより、IP電話サービスをご利用いただけない場合は、ダイヤルした後に「ピピピピピピピピピピッ…」という規制音が聞こえます。
- ◆このときはしばらくたってかけ直すか、かけたい電話番号の前に、0000(ゼロ4回)のダイヤルにより、加入電話として発信してください。0000(ゼロ4回)をダイヤルすると、強制的に加入電話として発信することができます。
- ◆加入電話として発信した場合は、NTT東日本・NTT西日本またはマイライン・マイラインプラスに登録された電話会社に接続されます。通話料は接続された電話会社からの請求となります。

👍 ACR機能・LCR機能はオフにしてください。

- ◆ACR機能またはLCR機能(電話会社自動選択機能)のついた電話機をご利用の場合は、IP電話サービスとして発信できない場合がございますので、ACR機能またはLCR機能をオフにご利用ください。
※設定方法等はお使いの電話機の取扱説明書等をご確認ください。

👍 最新のファームウェアにてご利用ください。

- ◆ファームウェアのバージョンによって動作が異なる機能がありますので、最新ファームウェアでご利用ください。

確認先URL

NTT東日本	http://flets.com/ipphone/
NTT西日本	http://www.ntt-west.co.jp/flets/ipphone/kiki.html

IP電話サービスをご利用のお客様へ ②

「IP電話対応機器」は、IP電話サービスと加入電話サービスに対応しています



ダイヤルされた番号によりIP電話と加入電話を自動的に選択します
どちらを選択したかは、ダイヤルした後受話器から聞こえる音によって識別できます。

発信時に聞こえる音 			
音の意味	IP電話として通話します	IP電話では通話不可のため加入電話に切り替え	加入電話として通話します
通話料金	IP電話通話料 ご契約のプロバイダから請求されます。		加入電話通話料 NTT東日本・NTT西日本またはマイライン・マイラインプラスに登録された電話会社から請求されます。
通知できる発信者番号	IP電話番号 ご契約のプロバイダから付与された電話番号	加入電話番号	
通話できる相手	ご契約のプロバイダのサービス内容をご確認ください。 ※ IP電話サービスによって、サービス対象 (IP電話として通話可能な相手先番号) が異なります。 ※ IP電話ではつながらない番号 (サービス対象外の番号) をダイヤルした場合は、加入電話としての発信に切り替わる場合があります。 ※ 停電時やIP電話対応機器の電源が入っていないときは加入電話としての発信になります。		下記の番号は、常に加入電話として発信します。 ・110番119番などの緊急通話 ・0000+相手先電話番号 ・177番117番などのサービス ・#で始まるダイヤル ※186、184は除きます

その他の注意事項についてはNTT東日本・NTT西日本のホームページ(下記URL)にてご確認ください。

確認先URL

NTT東日本	http://flets.com/ipphone/
NTT西日本	http://www.ntt-west.co.jp/flets/ipphone/kiki.html

※表記内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください